



(社説) 朴教授の判決 学問の自由侵した訴追

2017年1月27日 05時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷

面一覧



[PR]

史実の探求に取りくむ学問の営みに公権力が介入することは厳につつむべきである。

韓国・世宗大学教授、朴裕河（バクユハ）さんが韓国で出版した著書「帝国の慰安婦」をめぐる裁判で、ソウルの地裁は朴さんに無罪判決を言い渡した。

とかく日本との歴史認識問題に関しては、厳しい世論のまなざしに影響されがちだとの指摘もある韓国の司法だが、今回は法にのっとった妥当な判断をしたと言えるだろう。

この裁判は、「帝国の慰安婦」が元慰安婦らの名誉を傷つけたとして、検察当局が朴さんを在宅起訴したものだ。

判決は、検察が名誉毀損(きそん)にあたるとした35カ所のうち、大半が朴さんの意見を表明したにすぎないとし、他の部分についても特定の元慰安婦個人を指していないなどと指摘した。

また、朴さんが本を書いた動機は、日韓の和解を進めることにあり、元慰安婦の社会的地位をおとしめるためではなかったとして無罪判決を導いた。

著書が強調するのは、慰安婦となった女性には多様なケースがあったという事実や、植民地という構造が生み出す悲劇の数々である。

これまでの日韓の学界による研究の積み重ねにより、植民地の現実には様々な形で浮き彫りになってきた。朝鮮半島では暴力的な連行の必要すらないほど、慰安婦の募集などがシステム化されていた側面があるという。

韓国社会の一部に強く残る慰安婦のイメージと合わない部分があるからといって、歴史研究の中での見解や分析を封印しようとするのは誤りだ。まして、時の公権力が学問や表現の自由を制限することは、民主主義を放棄することに等しい。

しかし検察は昨年未、「学問や表現の自由を逸脱した」などとして懲役3年という異例の重い求刑をした。

検察は、そもそも訴追すべきではなかったことを反省し、慰安婦問題の議論の場を法廷からアカデミズムの世界に戻さねばならない。

一方、慰安婦問題をめぐる日韓両政府の合意は、ソウルの日本大使館前に続き、釜山の日本総領事館近くにも慰安婦問題を象徴する少女像が設置されたことで、存亡の危機にある。

日韓がナショナリズムをぶつけ合うのではなく、それを越えた和解が必要だというのが朴さんの一貫した主張でもある。

日韓双方にとって、対立の長期化がもたらす利益などない。両国関係を立て直し、進展させる意義を改めて考えたい。

その他のオピニオン面掲載記事

- ・ (社説)NHK新会長 公共放送の使命を常に
- ・ (社説)朴教授の判決 学問の自由侵した訴追
- ・ (社説)余滴)選挙民主と協商民主 村上太輝夫
- ・ (声)首相の改憲論は子や孫のためか
- ・ (声)2020年7月は東京場所にしては
- ・ (声)阪神大震災の体験に耳を傾けて
- ・ (声)若い世代 科学技術を軍事利用しないで

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

最新の朝刊紙面

東京 2017年01月28日 土曜日

- ・ 地域面紙面
- ・ be紙面
- ・ 天声人語
- ・ 社説



各社朝刊紙面

朝夕刊バックナンバー



注目情報



朝日新聞の新生活サービス
ホテル・グルメ・スパがお得価格
100万件以上の優待情報が満載!



わが家、意外と高いかも?
約60秒簡単入力⇒不動産無料査定で
概算価格をチェック! <ノムコム>



大募集!働くババママ川柳
「仕事と子育て」川柳の応募で
賞金20万円とペア宿泊券があたる

ディーン・フジオカさんインタビュー

シンガポール 航空で楽しむ空の旅

自分の体の状態を知ることから始めよう

自ら測り健康を守る 自測自健のススメ

テリー伊藤が日本で一番好きな温泉宿?

全国のホット 温まる温泉情報が満載!

オリラジ中田敦彦さんが熱弁!

「旦那は育成型ロボット」その真意とは

朝日新聞とマイナビ転職がタッグ組む

厳選した求人情報をお届けします!

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

- ▶ 米国連大使が初登庁 「同盟国にも断固たる姿勢」
- ▶ 「沖縄ヘイト」批判、MX幹部「チェック甘かった」
- ▶ 千葉)駅前を緑に戻す「逆開発」 小湊鉄道・養老溪谷駅
- ▶ 深夜の東京湾に輝く「神殿」 羽田空港のD滑走路を撮影
- ▶ (社説)「偏見」番組 放送の責任わきまえよ

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

法政大、軍事研究を禁止 < 9159